

# ミッションウォーカー Mission Walker

光のある間に福音を届けよう

Vol.2  
2011.12

この世界の今  
各地に広がる災害



続・がんばっぺ東北

活動日記

長期宣教チーム

★和歌山県台風被災支援

神を愛し、人を愛する思いを行動に...

# 東北だより



～あるおばあちゃんの「毛糸があったらいいのに」との一言からスタッフが思いついて始まりました～

## けいとパーティー

毛糸と編み針を用意し、集まる場所と機会を設けました。ご年配の方はご自分で好きなものを編んだり、お互い教え合ったり助け合ったりしながら、それぞれ話をしたり編み物をしたり盛り上がっていました。

国内外のクリスチャンから送られてきた大量の毛糸に、おばあちゃんたちは大喜び。この活動を通じて前に築いた関係がより深まり、新しい人とも知り合えてとても有意義な交わりでした。参加者の方とは今も続けて関わっています。

被災者からの声があって、ニーズに合った働きをすることが出来ました。神様の愛を表すことと、コミュニティを作ることを目的として働いているのでとても良いきっかけになりました。一度だけの関係でなくこれからもずっと関わっていきます。

## 祈りの課題

### みんなで 祈ろう！

- ・活動ベースから活動場まで1～3時間。冬場は凍結や雪で活動制限されることもあるので、安全のためにお祈り下さい。
- ・個人的な関係が進んでいる人が弟子になっていくように
- ・現地に働き人が起こされていくように
- ・東北の人々の文化や違いを理解することができる様に
- ・チームの健康のため



東北に来たいと思う人はどうか来てください。一緒に楽しく宣教しましょう！

# team

東北に長期宣教師として派遣されているチームメンバーを紹介します。現在、日本人2人+香港人7人の合計9人のチームです。

## 岩手県 宮古市

飯久保 慎二・ゾエ夫妻、ヒロシ・ナオミ夫妻

## 岩手県遠野市

エディ・イェン夫妻、瀬 知行

## 岩手県 一ノ関、宮城県 南三陸町、陸前高田

ガムチャイ・ホーイェン夫妻

### チームのいいところは？

現地の人々は、積極的に支援活動に取り組む香港人に興味を持って心を開いてくれます。日本人は、築いた関係をさらに深めるため、言語・文化面で用いられています。日本人と香港人、お互いに良いところを出し合い、補い合いながら働いています。

3つの小チームがあり、月一度は全体で集まって成功例をシェアするなどして、励まし合っています。先日初めてチームで楽しい時間を過ごすファンデイを持ちました。チームも良い雰囲気でメンバー同士も良い関係を持って働い

## 東北派遣への決意（練馬グレースチャペル 松本玄太）

実家の広島や短期宣教で行った佐賀など、日本には福音の届いていない地域が多い。福音に触れる機会が少なくても神様はその地域の人達を憐れみ、失われてゆく魂を嘆いておられると感じ「日本中の神様の愛を必要としている人達のもとへ福音を届けよう」と決心した。

3月11日に東日本大震災が起き、4月から毎月陸前高田に行っている。日本の状況が大きく変わり、僕自身も変わった。元々故郷の広島宣教にこだわっていた。ヨナ書で「ニネベに行け」という主の言葉に背きヨッパに向かったヨナを見て「今の僕はヨナだ！主が遣わされようとしている地に逆らい、安定と安心のある故郷を選んでいる」と思い悔い改めた。「わたしに仕えるというなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。もしわたしに仕えるなら、父はその人に報いてくださいます。」（ヨハネ12:26）。イエス様がどこに導かれるか祈り求めるようになった。

陸前高田に通い始めて避難所で働く1人の青年と親しくなり、8月の避難所閉鎖の後も連絡を取り合っている。被災して家族を失いながら、復興に向けて懸命に働く若者を見て、主の「将来と希望」を伝え、被災地の人達を励まし、共に歩もうと思った。「父がわたしにお与えになる者はみ

な、わたしのところに來ます。そしてわたしのところに來る者を、わたしは決して捨てません」

（ヨハネ6:37）のように、主が出会わせて下さる人達を、被災者と支援者ではなく友達として大切にしたい。彼らのそばで、決して見捨てられないイエス様を伝えたい。東北宣教は多くの不安や恐れもある。僕が献身を決意した御言葉「良いことの知らせを伝える人々の足は、なんとりっぱでしょう。」（ローマ10:15）のように、しっかり信仰に立ち、主が力強く立たせて下さると信じて歩もうと思う。

### ◎主な活動

毎月陸前高田を訪問し、避難所に食料など救援物資を届けたり、東京で支援を呼びかけたりした。長期滞在できない分、現地で話を聞き、東京で現状を伝えている。避難所で働く青年は、月に一度会いに行くととても喜んでくれる。その青年を通して、震災発生当初に東京の陸前高田出身者によって立ち上げられた復興支援団体「SAVE TAKATA」を知り、代表者にも会うことができた。「直接復興に関わりたい」と祈ってきた僕にとって、この出会いはほんとに大きかった。これから復興に向けて「SAVE TAKATA」と陸前高田の必要に応えた働きの中で福音を伝え、聖書の価値観をもって復興と宣教に携わっていきたい。

# TIME IS RUNNING OUT!!



わたしたちは、わたしを遣わした方のわざを、  
昼の間に行わなければなりません。  
だれも働くことのできない夜が来ます。

ヨハネ 9 : 4

## 和歌山県台風被害



9-10月は日高川町、古座川町、那智勝浦町、新宮市での活動。メンバーは主に紀ノ川チャペルMTC生や若者、教会メンバーを中心に体力仕事や炊き出しを行った。他の教会からも以前からの繋がりを通して、共に働くことができた。作業の内容としては主に被災住宅の家具片づけ、床下の泥出し。各地区にボランティアセンターが用意されていたが、そこには参加せず、牧師夫人の南紀方面の知人や南紀リバーサイドチャーチ（寺田師）メンバーのご近所さんなどを通じてお手伝いした。避難所では約100名分の炊き出しを行った。11月は熊野川町のボランティアセンターと共に働いた。

—活動を通して、現地の人にどんな変化がありましたか？

被災されたことを通して、抵抗なく知らない人の助けを受け入れるようになってきていると思います。「自分の体験談を語りたい」、「自分の家族だけではどうにもならない」ことから、人との関係を大切にする思いが強まっていると感じました。一人暮らしのお年寄りも多く、またご家族を亡くされた被災者の方の隣人となることで心が開かれ易くなっています。

—どんなふうに神様が働いておられますか？

被災者の方々に喜ばれ、良い関係が築かれています。作業が終わるときにはその家族のため、その地域の回復のために祈ることを心がけていました。那智勝浦町で作業をさせていただいた時、ある方は、祈り終わると涙して「本当にありがとうございます」と感謝されていました。また、熊野川町のボランティアセンターでの活動において、一般ボランティアの方と一緒に活動したのですが、私たちの姿を見た一人の女性が他のボランティアの人とは違う何かを感じ取り、作業後に、私

たちの一人の女の子に声を掛けてくれました。私たちの願いや動機が神様の愛によるものであることを伝えると、「わたしも神様を信じたい」と言い、信仰告白をすることができました！行いをもって神を証することで、神様の奇跡を体験することができました。

紀ノ川キリスト福音教会では災害の前から続けてアウトリーチをしていました。そのため日高川町では、すぐに私たちの助けを受け入れてくださり、以前から持っていた関係がさらに深まって、地域に根差した宣教ができています。私たちが先日行ったイベントに、被災者の方々に来場していただき、福音を語るすることができました。それ以外にも家に招かれて食事を共にして交わり、聖書に書かれている神は良いものであると感じてもらうことができました。

神を愛し、人を愛する思いを行動に表すことで、また祈ることで聖霊が豊かに働かれることを体験しています。今後も炊き出し等続けながら、宣教します。

(紀ノ川キリスト福音教会・山本健太)





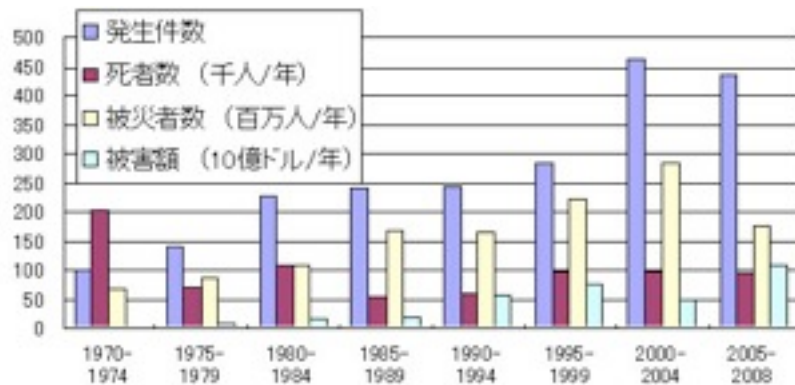
# 世界で起きている災害

残された時間はどれくらい？

民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。 **マタイ23:7,8**

聖書と歴史を照らし合わせると、神様がどのように世界を動かしておられるのかが見えてきます。近年急増している自然災害もその一つの指標となります。今は聖書のどの時代に当たるのでしょうか？

参考までに調べてみました。



世界各地で自然災害が増加しており、持続可能な開発の大きな障害となっています。災害に対する脆弱性を減らし、被害を軽減していくことは国際社会の重要課題の一つです。

毎年、世界では、約1億6千万人が被災し、約10万人の命が奪われるとともに、約400億ドル以上の被害額が発生しています（1970年～2008年の平均）。また、最近の10年間をみると、1970年代に比べて、発生件数、被災者数ともに約3倍に増加しています。

とりわけアジアでは、約23万人の犠牲者を出した2004年末のインド洋津波災害や約9万人の犠牲者を出した2008年の中国四川大地震等、災害が多発しています。近年（1979～2008年）の世界全体に占めるアジアの被害状況は、発生件数で世界の約4割、死者数の約6割、被災者数の約9割、被害額で約5割にも及びます。

また、災害による犠牲者の大半が低所得国、中低所得国に集中しており、災害と貧困の悪循環が課題となっています。

参照：内閣府HP <http://www.bousai.go.jp/kyoryoku/world.html>

また2010年以降もハイチ大地震、アイスランド火山噴火、チリ地震、ニュージーランドのカンタベリー地震、東北地方太平洋沖地震・津波、と記憶に新しい災害が多発しています。聖書によると災害は今後さらに増加する恐れがあります。

自然災害の他、世界的な経済不況、中東、アフリカ各国の政治情勢不安定化、EU統合の機運、またネット社会普及によるFacebook革命等の諸問題など、課題は山積しています。聖書のダニエル書、黙示録で預言されている通りです。この世の終わりの時代、私達には何ができるのでしょうか？